

行政報告の主な内容（5課15項目）

| | |
|----------|---------------------------|
| (1)総務課 | 集中豪雨による大雨被害について |
| | 自衛隊関係について |
| (2)保健福祉課 | 臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金について |
| | 特定健診等の実施状況について |
| | 新型インフルエンザ等対策行動計画について |
| (3)町民生活課 | 津市との交流について |
| | 協働のまちづくりの推進について |
| | 町営住宅の環境整備事業について |
| (4)産業振興課 | 農作物の生育状況について |
| | イベントの実施状況について |
| | 企業振興について |
| (5)教育振興課 | 国内交流事業について |
| | 児童生徒の部活動等における活躍について |
| | 上富良野小学校の校舎改築について |
| (6)総務課 | 建設工事の発注状況について |

行政報告

(平成26年9月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第3回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、8月20日、広島県で局地的な短時間大雨による大規模な土石流により、多くの方が犠牲となった大災害が発生し、また、道内におきましても8月24日、礼文町で記録的な大雨による土砂崩れにより2名の方が犠牲となる災害が発生したところであります。

更に、今月10日にも石狩、胆振地方においても水害が発生するなど自然災害が多発しており、災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福と、被災された多くの方々に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧を願うところであります。

それでは、去る6月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【防災担当関係】)

はじめに、当町における大雨による被害についてであります。8月5日、7日、その後10日から11日にかけての局地的な集中豪雨により、町内の道路、河川に被害が発生したところであります。

被害状況につきましては、まず、8月5日、7日の大雨では、道路26か所、河川4か所、排水路4か所、総額1,600万円の被害となり、8月10日から11日にかけての大雨では、道路8か所、河川2か所、排水路2か所、総額700万円の被害となっております。

ここ数年、突発的な気象現象による被害が続いていることから、改めて被害箇所等の検証を行い、適切な対応に努めてまいります。

(総務課行政報告【基地調整関係】)

次に、自衛隊関係についてであります。6月24日から27日にかけて北海道基地協議会及び上富良野町基地対策協議会によります防衛施設周辺整備対策中央要望を国会議員、防衛省に対して行い、あわせて道北地区連合会役員会・定期総会及び全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同定期総会にそれぞれ出席したところであります。

また、8月27日には、北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会によります「北海道の自衛隊体制強化を求める中央要望運動」に出席し、国会議員、防衛省に対して要望活動を行って参りました。

7月15日には、田邊北部方面総監をお迎えして、富良野地方自衛隊協力会主催によります「北海道における陸上自衛隊の将来態勢・体制」についての講演会を開催し、90名の参加をいただいたところであります。

次に、記念行事についてであります。6月下旬からこれまでの間、上富良野駐屯地創立記念行事他関連部隊等の記念行事に参加させていただきました。

(保健福祉課行政報告)

次に、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金についてであります。防災無線や広報かみふらのなどによる周知のほか、臨時福祉給付金については、未申請者への申請書の再送付も実施したところであります。

また、夜間申請窓口を8月18日から22日まで開設し、日中の申請手続きが困難な方への対応を図ったところであります。

9月11日現在における給付状況につきましては、臨時福祉給付金では支給対象となる1,640件に対し、1,495件の支給決定を行い、2,685万円を支給、子育て世帯臨時特例給付金では対象世帯815件す

べてを支給決定し、1,406万円の支給を行ってきているところであり
ます。

申請期間が9月末日までとなっておりますので、申請漏れ、支給漏れが
極力発生しないよう、個別周知を実施するなど対応を図ってまいります。

次に、特定健康診査（特定健診）の実施状況についてではありますが、今
年度は、7月3日から7月13日の間で実施し、1,208人が受診され、
町立病院による個別健診を含めると8月末現在で、1,232人が受診を
終え、受診率は、前年同期と同程度の58.5%となっております。

今年度は、特定健診の血液検査項目を追加するとともに、希望者には腹
部エコー検査と肺機能検査を実施し、生活習慣病予防検診としてより充実
させたところでもあります。

また、期間中は、高齢者・若年者健診、かみふっ子健診のほか、肺・胃・
大腸がん検診、肝炎ウイルス検診等もあわせて実施し、受診者総数は
2,332人となったところでもあります。

受診結果については、特定健診がスタートした平成20年度と比較しま
すと、特定保健指導対象が半数に減少し、その予備群についても着実に減
少してきており、生活習慣病の治療中の方についても、コントロールが良
好な方が増加の状況にあります。しかし、LDLコレステロール値の高い
方の増加がみられ、これは若年者や子どもについても同様の実態となっ
ていることから、今後の課題として捉えているところでもあります。

次に、上富良野町新型インフルエンザ等対策行動計画についてでありま
すが、本計画につきましては、新型インフルエンザ等対策特別措置法の規
定に基づき、政府行動計画及び北海道行動計画の策定を受けて定めるもの
であります。

町においては、本年5月に素案をまとめ、その後パブリック・コメントを経て、8月1日に計画を策定したところであり、同法の規定に基づき、北海道知事及び町議会へ報告するとともに、町ホームページを通じて公表させていただいております。

(町民生活課行政報告)

次に、津市との交流についてであります。7月20日、当町で開催しました「第36回かみふらの花と炎の四季彩まつり」に津市観光協会より2名が来町され、津市の観光PRや特産品の展示販売、本町との交流の歴史などを、来場者に対しまして紹介したところであります。

また、7月29日からは、津市へ訪問し、津市における防災対策の現状や平成29年度に迎える友好都市提携20周年につきまして認識を共有してきたところであります。

さらに、この訪問の際に、津市ライオンズクラブの宮木^{みやき}三郎様と一身田^{いっしんでん}寺内^{じないちやう}町祭り実行委員会の若林泰弘様に対しまして、当町を広くPRしていただくために、かみふらのPR大使としての委嘱をお願い申し上げ、お引き受けいただいたところであります。

次に、協働のまちづくりの推進についてであります。8月4日に第1回目の協働のまちづくり推進委員会を開催し、15名の委員の皆様へ委嘱状を交付させていただき、今後2年の任期の中で協働のまちづくりに関する事業に対しての評価や助言、施策等についてご審議を賜る予定であります。

また、8月22日には、「協働のまちづくり講演会」を保健福祉総合センターで開催し、100名を超える町民の皆様にご来場いただき、札幌国際大学の飯田俊郎教授から、まちづくりにおける自治会の活動や地域イベン

トの取組みについて講話をいただきました。

次に、公営住宅の整備事業についてであります。泉町南団地の建替えにつきましては、本年12月の完成に向けて、順調に工事が進められており、工事完成後は、現在入居されている方々の入居替えを順次行っていくところであります。

また、扇町団地の水洗化工事につきましては、工事の発注を終え、48戸の水洗化工事に着手したところであります。

今後も、快適で住みよい良好な住環境の整備に努めてまいります。

(産業振興課行政報告)

次に、農作物の生育状況についてであります。今月5日に農業委員会の作況調査へ同行させていただきましたが、干ばつや長雨などにより、本年の出来高は作物によって、バラつきが生じており、特に最も耕作面積が多い秋まき小麦につきましては、直近3年の中でも最低の反収となり、平年作を割り込む結果となりました。

また、豆類につきましても、厳しい予想がされておりますが、馬鈴薯やビートは平年並みに推移し、現在、収穫のピークを迎えております。水稻につきましては、高温・多照が功を奏し、豊作が見込まれておりますが、価格が低迷しており、安定することを願うものであります。

いずれにいたしましても、本格的な収穫期を迎え、農作業の安全に努めていただき、よりよい出来秋が迎えられるよう期待をしているところであります。

次に、今夏のイベントの実施状況についてであります。7月6日、「第1回かみふらの十勝岳ヒルクライム」が、日の出公園と道道吹上・上富良

野線を舞台に開催されました。大雪山国立公園指定80周年を機会に「かみふらの十勝岳ヒルクライム大会実行委員会」が主催し、初めてのイベントながら、道内外から224名のサイクリストの参加により、盛大に開催されたところでもあります。

次に、本年度で7回目を迎えた「まるごと かみふらの」ビアガーデンについてですが、本年度は雨天のため、中央コミュニティ広場に設置いたしました大型テントを会場として、7月12日に開催されました。また、上富良野ブランドである瓶ビールにつきましても、商品化して3年目を迎え、販売開始から約1か月の間で、大部分の店舗で売れ切りとなり、ブランドとしての認知度が高まりつつあることから、今後のさらなる展開に期待しているところでもあります。

次に、7月20日に開催いたしました「第36回2014花と炎の四季彩まつり」についてですが、町内外から約3万人の来場者をお迎えし、ステージイベント・行灯行列・花火等が予定どおりに行われ、盛会裡に終了することができました。

早くから行灯の製作をはじめ、イベントの準備・運営にご尽力いただきました関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

次に、企業振興についてですが、7月28日から、地元関連企業でありますプリマハム株式会社をはじめとして4社に赴き、信頼関係の維持を図るとともに、地元事業所における事業及び雇用の拡大についての要請を行ってきたところでもあります。

(教育振興課行政報告)

次に、国内交流事業についてですが、7月28日から3日間の日程で西小学校の児童10名と教員2名の計12名により、津市を訪問し、

安東小学校の児童との交流をはじめホームステイや視察などを通じて、両校の友好の絆をさらに深めてきたところであります。

次に、児童生徒の部活動等における活躍についてであります。まず、上富良野ジャガーズ少年団が「高円宮賜杯第34回全日本学童マクドナルド・トーナメント北北海道大会」において見事優勝し、8月8日から東京で開催された全国大会へ初の出場を果たし、2回戦まで勝ち進む健闘を見せました。一方、上富良野小学校2年生の榎本^{かしもとひょうあ}彪愛さんが、第34回北海道少年少女空手道錬成大会で見事優勝し、8月16日、17日に東京武道館で開催された第14回全日本少年少女空手道選手権大会に出場し、3回戦まで勝ち進む健闘をされました。

また、町内小中学生が各種大会へ出場し、立派な成績を収め活躍されております。そのような中において、上中の生徒2名が砲丸投げで全道優勝を果たし、10月31日から横浜市で開催される「全国ジュニアオリンピック」へ出場することになり、更なる活躍を期待するところであります。

町内の高校生では、全道高等学校体育大会の陸上競技と少林寺拳法で4名が入賞し、そのうち陸上競技2名が全国大会に出場を果たしました。

上富良野高校野球部につきましては、夏の北北海道大会旭川支部予選に出場し、1回戦で惜しくも敗れる残念な結果となりましたが、秋季北海道高校野球大会旭川支部予選では2回戦を勝ち進み、この後行われる決勝へ大きく期待が膨らみ、一層の活躍に声援を送るものであります。

次に、上富良野小学校の校舎改築についてであります。7月16日に検査を終え、7月28日に新校舎への移動を行ったところあります。

また、8月17日に実施しました町民への一般公開には、約300人の方々が見学に訪れられました。児童においては、2学期の始まる8月19

日から新しい校舎で元気に学んでおります。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に、建設工事の発注状況についてですが、6月定例町議会で報告以降に入札執行した建設工事は、9月16日現在、件数で46件、事業費総額で6億7千464万9千円で、本年度累計では54件、事業費総額7億4千60万1千円となっております。

詳細につきましては、お手元に、「平成26年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、御高覧いただきたく存じます。